

新町長就任

未来への扉を、ともに開く ― 全速前進で進む長瀬の挑戦



第13代長瀬町長
岩田 務

去る8月2日の町長選挙におきまして、多くの町民の皆様より温かい御支持と信託を賜り、8月3日付で第13代の長瀬町長に就任致しました。長瀬の未来を切り拓くこの重責に身が引き締まる思いであると同時に、皆様と共にこの愛するまちの新たな歴史を創り上げていけることに、大きな希望と喜びを感じております。

長瀬町は、美しい自然と豊かな観光資源に恵まれた、誇り高きまちです。しかし現在、全国的な課題である少子化による人口減少や、公共施設の老朽化、そして地域活力の維持といった、待ったなしの難題に直面しています。これらに対して、私は立ち止まることなく、迅速かつ大胆に「全速前進」で向き合い、皆様の切実な声を活かした挑戦を続けてまいります。そのために私は、長瀬の未来を形作るために「3つの約束」を掲げます。

第一に「誰もが元気に楽しく暮らせるまち」です。

すべての世代が笑顔で過ごせるよう、利便性の高い公共交通（グリーンスローモビリティ）の導入や、図書館・公民館・学校機能等を備えた「魅力ある複合公共施設」の建設を柱に、住み心地の良いまちづくりを推進します。

第二に「皆様の生活を守るまち」です。

何よりも「町民ファースト」の精神を貫きます。防犯・防災対策の強化はもちろん、日常の買い物やゴミ出し、高齢者や障がいのある方の見守りなど、暮らしを足元から支える生活支援を徹底します。また、昨今の物価高騰にも配慮し、経済的な不安を抱える皆様に寄り添う、温かく安心なまちづくりを目指します。

第三に「いつまでも住み続けられるまち」です。

人口が減少しているなか、持続可能な希望のあるまちを目指し、商工観光農業の振興による経済の活性化や新たな雇用創出、ふるさと納税・企業版ふるさと納税など外貨を提供していただくようにして、戦略的な財政運営で未来へ繋がる豊かな基盤を築きます。その成果を、結婚・出産・子育て・移住支援といった次世代への投資へしっかりと還元し、将来にわたり消滅の心配がない、希望あふれる長瀬を次代へ継承します。

私は、これまでの町議会議員として培った4期の経験と、経営者としての視点、そして町を愛する情熱をすべて捧げます。役場内においても「できない」を「できる」に変える意識改革を断行し、DXやAI活用による効率化を図りながら、職員が意欲を持って住民サービス向上に励む、風通しの良い組織へと変革してまいります。

皆様との対話を何よりも大切に、秩父地域や近隣市町村とも連携を深めながら、一つひとつの課題解決にスピード感をもって取り組みます。長瀬の素晴らしさを守り、さらに進化させるため、皆様のお知恵を拝借し、全力を尽くしてまいります。

今後とも町政への御理解と御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げ、就任の御挨拶とさせていただきます。

副町長に飯塚寛氏が就任

8月議会臨時会において、飯塚 寛氏（67歳・小鹿野町）が議会の同意を得て、副町長に選任されました。任期は、令和8年8月13日から4年間になります。

